

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

遠野市がブラジルの



ホストタウンに決定！

視覚障害者5人制サッカー・ブラジル代表の合宿誘致へ。

2020年に開催されるスポーツの祭典「東京2020オリンピック・パラリンピック」。本市はそのホストタウンとして、視覚障害者5人制サッカーのブラジル代表を受け入れます。事前合宿や交流イベントを誘致し、「サッカーのまち遠野」ならではの国際交流に取り組みます。



視覚障害者5人制サッカーとは

視覚障がい者らによる5人制のサッカー。フットサルのルールを基本に、音の出るボールを使い、音と感覚のみでプレーする。ブラジル代表はパラ五輪で4大会連続優勝している絶対的王者。リオ大会でも金を獲得し、国内では健常者のサッカーと同様に人気がある。

写真提供/日本ブラインドサッカー協会

経過と今後の予定

- 2016年10月 希望郷いわて国体で遠野市が少年男子サッカー競技の会場地に
- 11月 市スポーツツーリズム推進室設置
- 2017年7月(昨年) ブラジル岩手県人会を通し、ブラジル視覚障害者スポーツ連盟(以下、CBDV)へ本市市長の親書とPRビデオを伝達
- 10月 CBDVの代表から「遠野に選手団を派遣したい」という内容の手紙が届く
- 12月 遠野市が東京2020のブラジルのホストタウンに正式決定
- 2018年7月(今年) CBDVが視察のため来遠
- 2019年 ブラジル選手団事前合宿(1回目)
- 2020年 ブラジル選手団事前合宿(2回目)
東京2020パラリンピック競技大会(8月29日~9月6日)

Interview



市スポーツツーリズム推進室
朝倉 優香 さん

視覚障害者5人制サッカーのブラジル代表は、大会5連覇を目指す強豪。本市は、ホストタウンとしてブラジル代表が優勝できるようにサポートします。世界最大のスポーツの祭典に、市民一人ひとりが携わることができるチャンス。遠野ならではの「おもてなし」を、世界に発信しましょう。

サ

ツカーを通して世界と交流するチャンスが訪れました。昨年12月11日、本市は東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、東京2020)のブラジルの「ホストタウン」に登録されました。ホストタウンとは、世界の参加国(地域)と日本の地方自治体の相互交流を図る事を目的に国が地方創生の一環で進めているもの。本市は、視覚障害者5人制サッカー代表の事前合宿を誘致し、「サッカーのまち遠野」と「サッカーの国ブラジル」の交

宿の誘致に向けた協議を行うことになっていきます。今後は、東京2020の出場選手との交流会や障がい者スポーツの体験会、ブラジルについて理解を深めるイベントなども企画。また、スポーツ施設のユニバーサルデザイン化などにも取り組めます。市は、ホストタウン登録をきっかけに、障がい者や高齢者に優しい共生社会の実現を図り、さらに、ブラジルの多彩な国際交流につなげたいと考えています。昨年度の希望郷いわて国体で少年男子サッカー競技の会場地となった本市。市民総参加によ

流を育むプロジェクトをスタートさせます。

昨年度に開催された希望郷いわて国体のレガシー(遺産)をまちづくりにつなげるため、市は国体後にスポーツツーリズム推進室を設置。東京2020のホストタウン登録に向けた誘致活動を展開してきました。昨年7月には、ブラジル岩手県人会を通してブラジル視覚障害者スポーツ連盟(以下、CBDV)に本市市長の親書とPRビデオを伝達。本年7月には、CBDVの担当者を本市に招き、事前合

るおもてなしは、遠野を訪れた県内外の人を感動させました。また、私たち市民も、選手からたくさん感動をもらいました。スポーツを通じた交流は、人を感動させ、まちを元気にする力があります。世界の人々に、夢と希望を与えてくれる東京2020。「オー」ル遠野による取り組みは、国を越えて相手に届き、新たな感動を生み出すことでしょう。東京2020に向け、いよいよキックオフです！



ブラジル県人会の多田マウロ副会長(左)と田口精基副会長(左から3番目)がCBDVのフレイレ代表(同2番目)に本市市長の親書を伝達しました

国体の感動を、次は、東京2020で。

